

令和6年度 第24回みやぎの区民活動表彰 受賞者一覧(五十音順)

【個人の部】(敬称略)

	受賞者	活動内容・活動の功績等
1	アソ テツオ 阿蘇 哲夫	町内会のイベントの際には、電気設備や音響に関する設営を率先して対応している。また、地区長となっている地区のほかに、ごみの散乱が酷い3地区のごみ集積所の清掃を自主的に行っており、安全で快適なまちづくりに貢献している。
2	オオマチ シンイチ 大町 真一	若い頃より、お花見やミニスポーツ大会など町内会行事の司会進行を行い、皆の親睦を深めている。また、学校防犯巡視員ボランティアや、仙台市地域防災リーダー(SBL)として地区の防災訓練に積極的に参加しており、今後も地域防災連絡協議会の副会長として、地区全体の安全・安心なまちづくりへの貢献が期待される。
3	ゴトウ シゲル 後藤 繁	各種団体の要職の経験を活かし、平成28年から、町内会顧問として団体の円滑な運営に尽力してきた。また、同年から令和6年3月まで行っていた学校防犯巡視員では、片道2kmを往復し地域全体の安全に貢献していたが、謝礼を受けとらず無償で行っていた。
4	スギ レイコ 杉 玲子	地区女性防火クラブ協議会の支部役員として、女性防火クラブ相互の連携や、関係機関等との連携協調を実施し、地域における防火・防災思想の啓蒙や普及徹底を行った。また、みやぎ朗読会へ参加し、東日本大震災の教訓等を後世に残す活動等を実施しており、今後も同様の活動が期待できる。
5	スズキ チョウジ 鈴木 忠二	若い頃より、幼稚園父母会代表や、小中学校のPTAの要職を務めており、昭和61年の西山中学校の分離開校の際は、地域の意見を集約し、市との協議に積極的に参加して、地域全体をとりまとめ、住みよいまちづくりに貢献した。現在も、児童の見守りを毎日行っている他、西山コミュニティ・センター管理運営委員会委員長として、円滑な運営に尽力するなど、今後も地域活動の中心的存在として期待されている。
6	タカワタ ケイコ 高澤 聖子	原町地域内外に向け自宅で「折り紙教室」を主催しつつ、平成20年から町内会の女性役員を担い、町内健康サークル「ふれあいサークル」の発起人として、月2回の運営企画および会員への体操指導を実践しており、生きがいと快適で住みよい街づくりに貢献している。
7	タカハシ シンゾウ 高橋 志津子	月に1回、集会所を「つくし会」サロンとして開放し、子供や母親の交流を図っており、市や県が主導する前から梅田川河川敷の清掃を自主的に行っている。町内会の会計として、約20年近く子供会や老人クラブなどの行事に主体的に参加しており、地域住民からの人望が厚い。
8	タケダ ミツヒコ 武田 光彦	平成7年から平成29年の長きにわたり、町内会の要職に就き、地域に貢献してきた。また、高齢にもかかわらず学校防犯ボランティアを続けており、巡回の際には町内のごみ集積所を見回り、網の破損を町内会へ報告し、その修繕を自主的に行っている。ボランティア活動を長年続ける姿が地域住民の模範であり、目標となっている。
9	ナカサト カズオ 中里 和男	平成19年2月から町内会の要職をつとめ、各種町内活動に積極的に取り組む他、地区全体の交通課題であったJR福田駅駅のバリアフリー化に関して、地域全体の意見調整をおこなった。近年は岡田・鶴巻地区地域交通検討会のメンバーとして地域住民の意見取りまとめ役として活躍してしている。
10	ハルガ カオル 芳賀 薫	自主的に町内会の巡回を行っており、側溝からの雨水溢れや、不法投棄、悪徳業者の個別訪問等の情報を収集し、回収板や掲示板にて注意喚起を行うなど、安全で快適なまちづくりに欠かせない人物である。
11	ハンザワ タカコ 半澤 孝子	平成5年から現在まで、地域のふれあいいきいきサロンやおまつり等の地域行事に積極的に参加し、自己の趣味である日本舞踊・リズム体操・フラダンス等の発表を行っており、地域の高齢者の交流の支えとなっている。また、平成25年から、見守り散歩隊を毎日行っており、地域の安全に貢献している。
12	ミサワ トモコ 三澤 知子	平成28年4月から環境部として尽力し、公園の草取り奉仕作業を町内会員に呼びかけ交流を図っている。核家族が多いなか、若い世代にも交流の大切さを伝えているほか、長い間地域の世話役でありリーダーとして町内会を牽引している。
13	モリヤ マサル 守屋 優	平成24年度から、みやぎの・まつり実行委員として、学生の協力を得ながら複数のコーナー運営に尽力している。また、実行委員長に就任した令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により毎年異なる状況のもと、まつりの実行委員とともに前向きに検討や議論を重ね、委員長として開催に向けて各種決断を行い、工夫を凝らして地域コミュニティの交流の場であるまつりを開催している功績は多大である。

【団体の部】(敬称略)

	受賞団体	活動内容・活動の功績等
1	案内お茶つこ会	平成19年3月から現在までの約17年間にわたって活動している団体で、月に1回の20名程度の茶話会等を開催している。簡単な手芸やお菓子作りや地域包括センターによる講演などを実施し、地域の高齢者の健康寿命を延ばすために尽力している。
2	いわきり子育てネットワーク	岩切地区にある子育てサークルや近隣保育園や児童館等の20団体が連携し、「安心して、楽に、楽しく子育てができる」環境と仲間づくりに取り組んでいる。乳幼児向けの講座の開催や、市民センターのおまつりなどでの子育て情報の発信の他、病院や子育てサークル等の情報を掲載したリーフレット「IKoNet(イコネット)」や地域防災マップ等を掲載した「IKoNet(防災版)」を作成・配布し、より多くの人へ子育て情報を提供している。地域全体の連携により子育て支援をすることで、よりよい街づくりに多大な貢献をしている。
3	貞山運河倶楽部	岡田新浜地区を中心に貞山運河界隈の魅力を伝える「岡田新浜小屋めぐりマップ」を作成し、若いアーティストたちと連携して「貞山運河小屋めぐり」を開催するなど、地域の魅力を発信するイベントを実施しており、沿岸部のにぎわいづくりに貢献している。
4	社会を明るくする運動原町地区推進委員会	原町小学校や宮城野中学校にて「社会を明るくする運動の標語コンクール」を行い、最優秀賞の標語を「しおり」にして、原町小学校、宮城野中学校の全校生徒に配布する活動をしており、子どもたちが標語作成を通して、地域を明るくし、犯罪予防のための方策を考える良いきっかけを作っている。
5	苦竹老人クラブ万寿会	梅田川河川敷の清掃や花壇の手入れ、苦竹駅構内の七夕笹だけ飾り付け等の社会奉仕活動や、健康増進のための早朝ウォーキング、介護予防体操を行い、地域交流として、町内のお花見、夏まつり、芋煮会、忘年会等でコーラス・オカリナ・ハーモニカの演奏を披露しており、ひきこもりがちな高齢者に声掛けをして町内の活性化に尽力している。